

1 (ひと) まち 1 (ひと) キャンパス事業 (大学・地域連携プロジェクト支援) 補助金交付要領

(趣旨)

第1条 府の交付する1 (ひと) まち 1 (ひと) キャンパス事業(大学・地域連携プロジェクト支援)補助金(以下「補助金」という。)については、「補助金等の交付に関する規則」(昭和35年京都府規則第23号。以下「規則」という。)及び「1まち1キャンパス事業(大学・地域連携プロジェクト支援)実施要領」並びにこの要領に定めるところによる。

(補助の目的)

第2条 大学等(大学院及び短期大学を含む。以下同じ)が市町村(京都府内市町村。以下同じ。)と連携し、当該市町村をフィールドとして取り組む大学等の授業や研究活動等のプロジェクトを支援することにより、京都全体をキャンパス化するとともに、地域や企業と結びついた教育環境を整えることにより、京都の大学の魅力の更なる向上と地域に愛着を持ち地域に貢献する人材育成に取り組むことを目的とする。

(補助対象者)

第3条 補助金の交付の対象となる者は、大学等とする。

(補助対象事業)

第4条 補助金の交付の対象となる事業(以下「補助対象事業」という。)は、第2条に定める目的に沿って行われる大学等と市町村とが連携して取り組む教育・研究活動等とする。

(補助金の額等)

第5条 補助金の額は、補助対象経費の3分の1以内の額とする。

2 前項に規定する補助金の額に1,000円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。

3 補助金の限度額は、200万円とする。

(事前着手)

第6条 大学等は、補助金の交付決定前に事業を実施した場合は、補助金の交付を受けることはできない。ただし、やむを得ない事由により、交付決定前に事業を実施しようとする場合において、別に定める事前着手届を知事に提出したときは、この限りでない。

(交付申請)

第7条 規則第5条に規定する交付申請書は、別記第1号様式によるものとし、知事が別に定める期日までに提出するものとする。

(変更の承認申請)

第8条 規則第9条の規定による変更の承認申請書は、別記第2号様式によるものとする。

(状況報告)

第9条 大学等は、知事が必要と認めて指示したときは、別記第3号様式により事業の遂行状況報告書を作成し、知事に報告しなければならない。

(実績報告)

第10条 規則第13条に規定する実績報告書は、別記第4号様式によるものとし、補助対象事業の完了した日から起算して30日を経過した日又は補助金の交付決定のあった年度の翌年度の4月10日のいずれか早い日までに提出するものとする。

(書類の整備)

第11条 補助金の交付を受けた団体は、補助金に係る収支を記載した帳簿を備え付けるとともに、その証拠となる書類を整理し、かつ、これらの書類を当該事業の完了の日の属する年度の翌年度から5年間保存しなければならない。

(財産の処分)

第12条 規則第19条ただし書に規定する知事が定める期間は、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和40年大蔵省令第15号）に定める耐用年数とし、規則第19条第2号に規定する知事が別に定める財産は、取得価格又は効用増加価格が50万円以上のものとする。

(その他)

第13条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は、知事が別に定める。

附 則

この要領は、平成28年度分の補助金から適用する。